

中長期計画に対する自己評価（1ページ以内）	
全体評価	S：当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている。 A：当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる。 B：当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取り組みがあり、目標の達成に継続した努力が求められる。 C：当初の計画について半数以上の取り組みについて未達であり、取り組みや目標に関して一定の見直しが必要である。 D：当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。
B	
評価理由	<p>世田谷プラットフォームにおいては、発足に当たり策定した中長期計画（平成30年度～令和4年度の5年間）に基づき各取り組みが進められている。運営体制については、協議会や協議部会、各取り組みに対応する各部会、各ビジョンプロジェクト、共同事務局等が設置され、各組織の役割や評価体制なども整備されてきている。4年連続の私立大学等改革総合支援事業（タイプ3）採択が最大の成果と考えているが、中長期計画で達成できていない取り組みや十分に機能していない部会があるなどの課題も残っている。</p> <p>令和3年度は、区内産業界から新たに世田谷信用金庫の参入があった他、区内大学へ勧誘活動を行うなど規模の拡大を図りながら、世田谷区・群馬県川場村児童交流事業の実施など、区内・外における交流・地域振興活動を積極的に行った。</p> <p>しかしながら、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受け、特に地域、大学間の交流等、実行できなかった活動もあり、当初計画の取り組みが未達となり、目標を達成することができなかった。一方で、オンラインを活用した取り組みは活発に行われ、今年度開講した社会人向けオンライン講座「ビジネスキャリアデザイン講座Ⅰ」が大変盛況であった（視聴者の累計は延べ1,000人を超えた）ほか、「eラーニング（せたがやeカレッジ含む）による公開講座提供件数」や「共同FD・SD開催件数」などは、数値目標を大幅に超えて達成することができている。</p> <p>また、令和4年度に向けて、世田谷区立教育総合センターにおけるSTEAM教育講座等への出展や、「ビジネスキャリアデザイン講座」の続編の企画の検討が進められており、今後の世田谷PFのさらなる活動の展開も期待される。</p> <p>以上に記載したとおり、全体としては、令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、目標未達の計画が多かったものの、オンラインの活用により、大学間連携など様々な取り組みを進めたため、評価はBとした。</p>
評価に関する備考（考慮すべき事項）	<p>■新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響</p> <p>令和3年度は、令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、各大学はオンライン授業の展開など、様々な対応を求められた。また、各イベントについてもその多くを中止せざるを得ない状況となり、当初計画していた事業を実施することができなかった。そのような中においても、世田谷区・群馬県川場村児童交流事業の実施や、オンラインを活用した、社会人向け「ビジネスキャリアデザイン講座Ⅰ」等の公開講座や「共同FD・SD開催研修」などが実施され、世田谷PFを活性化される取り組みが進められている。</p> <p>■事務局体制の強化</p> <p>令和3年度より、大学3校及び世田谷区、東急株式会社で構成されていた共同事務局に、区内産業界から新たに世田谷信用金庫に加わっていただいた。また、世田谷PF代表口座の開設、小口現金の運用検討などの整備を進め、事務局体制が強化された。</p> <p>併せて、「大学事務の共同実施」の一環として、加盟6大学が必要とする「新型コロナウイルス感染症感染予防用品」の共同購入を行った。</p> <p>■区内産業界との連携</p> <p>世田谷PFは、東急株式会社（令和元年9月に社号変更）、イツツ・コミュニケーションズ株式会社、東急スポーツシステム株式会社および東京商工会議所とそれぞれ包括連携の体制を構築しているが、令和3年6月に世田谷信用金庫が新たに世田谷PFに加入し、これにより現在の参画企業は5社となった。</p> <p>■地方自治体との連携</p> <p>世田谷PFは、世田谷区だけでなく、同区と交流のある地方の自治体（北海道中川町、北海道洞爺湖町、山形県舟形町、群馬県川場村、神奈川県川崎市、長野県、長野県豊丘村、新潟県十日町市等）との連携を掲げており、令和3年度は、「世田谷区・川場村縁組協定締結40周年記念児童交流事業」に参加した。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響から、対面での催しは残念ながら中止となったが、オンライン企画を実施、連携強化を進めた。</p>

達成目標・活動指標等（おおむね10頁以内）									
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標			実績	評価・備考		
			上段数値：各大学が独自で実施している取組件数 下段数値：上記の内、世田谷PFとしての取組件数			以下、2021年度の実績及び評価			
ビジョンプロジェクト1（文化・芸術・教育） 担当：【国土舘】、【東京都市】									
1-1. 今後も人口増加・住民の多様化が予想される世田谷区において、幅広い年齢層や地域のニーズに合わせた教育の提供が求められているが、その機会が不足している	■ 大学の幅広い知財を地域住民に提供する機会を増やし、様々なニーズに合わせた教育を実施する	■ 高等教育の提供	■ 公開講座等提供件数（eラーニング含む）【件】					221件 (16)	B 個性の違う6大学で世田谷PFが形成されており、広範囲の学術分野をカバーした取り組みが可能である。2021年度は、2020年度と比較し2倍以上増加したものの、依然としてコロナ禍により、数値目標に達していない。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			310件 (11)	315件 (12)	320件 (13)	330件 (14)	340件 (15)		
			■ eラーニング（せたがやeカレッジ含む）による公開講座提供件数						
2018	2019	2020	2021	2022	69件	S 6大学と区教育委員会で構築したe-Leaningシステム「せたがやeカレッジ」により講座提供を行っている。また、数値目標を大きく超えて達成できている。			
7件	8件	9件	10件	11件					
1-2. 大学がもつ高度で専門的な教育資源を活用し、小中学校等における教育活動の充実をはかる必要があるが、その連携が不十分である	■ 大学がもつ高度で専門的な教育資源の活用による、小中学校等における教育活動の充実	■ 区内小中学校等への教育活動支援	■ 教育支援活動を実施した小中学校数					56校	B 2021年度は、コロナ前の水準にまで回復しつつあるが、計画どおりの活動数には達していない。なお、2018年度末評価において、「2016年度以前の数値を確認すると30校前後であり、過大な数値目標が設定されていることが想定される」との評価を受けており、数値目標の見直しが必要である。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			60校	62校	64校	66校	68校		
			■ 学生ボランティアによる区内小・中学校等への教育活動支援派遣者数（世田谷区「区立幼稚園、小・中学校等への教育活動支援事業」と連携）						
2018	2019	2020	2021	2022	67名	B 世田谷区教育委員会事務局を通じ派遣しているが、2021年度は、コロナ前の水準にまで回復しつつあるが、引き続き未実施の大学もあり、計画どおりの			
75名	75名	75名	75名	75名					

2021（令和3）年度 世田谷プラットフォーム評価報告書

									数値には達していない。
1-3. 乳幼児期から文化・芸術にふれることは、想像力と創造性を育み、多様な価値観を受け入れることが期待される一方で、それらは限られた環境の子どもにしか提供されていない	■ 文化・芸術・教育に関わる機会の提供及び乳幼児の情操教育への寄与	■ 乳幼児及び保護者への支援の推進	■ 乳幼児及び保護者への支援活動並びにその啓発活動の実施件数					8件 (1)	B 2021年度は、コロナ前の水準にまで回復しつつあるが、計画どおりの活動数には達していない。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			10件 (10)	10件 (2)	10件 (3)	10件 (4)	10件 (6)		
1-4. 文化・芸術活動等は、障がい者が生きがいや社会参加に寄与するために必要であるが、その支援活動が不足している	■ 障がい者支援活動機会の充実	■ 障がい者支援の推進	■ 障がい者支援活動及びその啓発活動の実施件数					3件 (0)	C 各大学、独自で進めている活動数は多いものの、世田谷PFとしては、一部の取り組みにとどまっており、2020年度に数値目標を下方修正した。2021年度も、コロナ禍の影響を受け、ウイルスの影響により、計画の検討に留まり、数値目標を達成できていない。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			13件 (2)	13件 (2)	13件 (3)	13件 (4)	13件 (6)		

ビジョンプロジェクト2（地域活性） 担当：【国士館】、【駒澤】

2-1. 近隣同士の付き合いや地域での繋がりが希薄になっているため、地域振興や交流イベントの機会が求められている	■ 地域課題の解決や地域振興に向けた支援体制を構築し、「安心安全に暮らし、学び、遊べる街世田谷」の実現	■ 地域振興・交流イベントの推進	■ イベントの開催・協力件数					43件 (13)	B 2021年度もコロナ禍により、計画どおり進めることができなかったため、数値目標を達成できていない。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			85件 (10)	90件 (12)	95件 (14)	100件 (16)	105件 (18)		
2-2. 防災教育や指導等が区内に滞在する人々に対して十分な準備が整えられていない	■ 同上	■ 防災教育の推進	■ 防災教育の参加者数					15,510名	B 各大学において、防災教育の取り組みを推進している。2021年度は、コロナ前の水準にまで回復しつつあるが、引き続き防災訓練の実施を中止する大学もあり、計画どおりの参加者数には達していない。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			14000名	17500名	17500名	17500名	17500名		

ビジョンプロジェクト3（産業） 担当：【成城】、【東京都市】

3-1. 世田谷区内の産業界に従事する若年層が多くないため、高齢化社会に向けての人材確保ができていない	■ 産学官の連携体制を構築し、区内における就労及び新たな商品開発や起業の促進をはかる	■ 企業との連携推進	■ 区内産業界へのインターンシップ参加者数					61名	B 企業との連携活動は行っているものの、2021年度も、コロナ禍により、計画どおり進め
			2018	2019	2020	2021	2022		
			150名	160名	170名	180名	190名		

2021（令和3）年度 世田谷プラットフォーム評価報告書

	ことにより、区内産業を活性化								ることができなかったため、数値目標を達成できていない。
			■ 区内への就業者数					169名	B コロナ禍にもかかわらず、地道な活動によりほぼ目標を達成できた。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			140名	150名	160名	170名	180名		
3-2. 区内産業を活性化するための教育プログラム（リカレント教育）が提供されていない	■ 同上	■ 企業との連携推進	■ 社会人向け教育プログラム数					27件 (3)	S 世田谷PF独自の社会人向け教育プログラム「ビジネスキャリアデザイン講座」を開講し、延べ1,000人を超える受講者を集めたことは評価できる。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			検討	試行		実施			
3-3. 区内産業界を活性化するための、区内産業界等との連携体制が十分でない	■ 同上	■ 企業との連携推進	■ 産業イベント開催・協力件数					9件	B 企業との連携活動は行っているものの、2021年度も、コロナ前により、計画どおりの活動数には達していない。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			—	7件	10件	12件	14件		
3-4. 世田谷区は、兼業・副業や職住近接の働き方改革モデル地域として、また、多様な地域的課題を解決するコミュニティ・ビジネスの叢生モデル地域として期待されているが、地域住民や地元学生などに起業に関心のない「創業無関心者」が依然として多いため、地域ぐるみで創業機運を醸成する必要がある	■ 同上	■ 地域の「創業無関心者」層に、起業に関心を持ってもらうための啓発普及活動を展開	■ 創業機運醸成のためのイベント等開催数					1件	B 2021年度もコロナ禍により、計画どおり進めることができなかったため、数値目標を達成できていない。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			—	3件	3件	3件	3件		

ビジョンプロジェクト4（国際化） 担当：【成城】、【東京都市】

4-1. 東京オリンピック・パラリンピックに向けてアメリカのホストタウンとして区内での国際化対応を推進する必要がある	■ 東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた区内での国際化対応による世田谷の魅力度の向上	■ 国際感覚の醸成	■ 国際化推進イベント参画・協力件数					24 (7)	B 2021年度もコロナ禍により、計画どおり進めることができなかったため、数値目標を達成できていないが、オンラインによる企画を実施し、好評を博した。。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			28件 (0)	44件 (4)	45件 (4)	46件 (4)	47件 (4)		

ビジョンプロジェクト5（大学等の連携） 担当：【駒澤】、【東京都】									
5-1. 個別の大学の取組のみでなく、各大学のFD・SD活動を共有あるいは共同開催することで、効率的な教育改革あるいは大学改革を推進する必要がある	■ 教育力の向上並びにスタッフ能力の開発により、世田谷区内大学の価値を高める	■ PF形成校（大学・高専）の連携強化	■ 共同FD・SD開催件数					9件	S 部会が中心となって活発な活動を行い、数値目標は大きく上回る件数を実施できた。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			■ 共同の単位互換科目数					293科目	S 2020年度に新たに大学院科目が追加され、2021年度も数値目標を大きく上回ることができている。
			2018	2019	2020	2021	2022		
5-2. 自大学に無い科目の提供や環境の異なる大学で学ぶことにより、学生の学修意欲を高める必要がある	■ 世田谷PF内で単位互換を活用しやすい仕組みを構築するとともに単位互換科目数を増加する		■ 共同利用が可能な施設・設備登録数					722件	S 2020年度に東京農業大学の施設・設備が83件登録されたこともあり、2021年度も目標を大きく上回ることができている。
			2018	2019	2020	2021	2022		
5-3. 各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進することにより、世田谷PFの活性化並びに大学間の教育研究等の連携強化を図る必要がある	■ 各大学が保有する施設・設備の共同利用を推進する		■ 参加校（大学・高専）数					6校	C 2021年度も区内大学へ呼びかけを行ったものの、構成大学が6大学にとどまっており、数値目標を達成できていない。引き続き、参加校を増やす取り組みが望まれる。
			2018	2019	2020	2021	2022		
5-4. 世田谷区内にある13大学の内、現在参画しているのは6大学であり、区内外の参加校数を増やし、より世田谷PFを充実する必要がある	■ 区内外への参加を呼びかけ、参加校を増やし、世田谷PFの効果を高める		■ 共同学生募集活動件数					8件	A 部会を中心に着実に進められ、数値目標に達することができている。
			2018	2019	2020	2021	2022		
5-5. 世田谷PF形成大学等において、共同のニーズ調査や高校訪問、説明会、広報（Webサイトやパンフレット等）活動を行い、世田谷区で学ぶことの魅力を高めていく必要がある	■ 世田谷PF形成大学の知名度を高め、世田谷で学ぶ魅力を伝えるために、共同学生募集活動を推進する		■ 学生ボランティア派遣件数（世田谷区「ボランティア事業」との連携）					49件	B 2021年度よりデータ収集の形を変更し、各大学で取り組んでいる学生ボランティア派遣件数が把握できた。次年度以降の適切な目標設定を検討する予定である。
			2018	2019	2020	2021	2022		
5-6. 世田谷PF形成大学等において、地域課題の解決等に向けた共同のボランティア体制が整備されていない	■ ボランティア体制の充実		■ 共同の単位互換科目数					293科目	S 2020年度に新たに大学院科目が追加され、2021年度も数値目標を大きく上回ることができている。
			2018	2019	2020	2021	2022		
			検討	248科目	248科目	248科目	248科目		
			8件	608件	608件	608件	608件		
			8校	9校	10校	11校	13校		
			8件	8件	8件	8件	8件		
			検討	試行	実施				

2021年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

0. 基本データ（各年度5月1日現在の数値）

0-1 保証人も世田谷区在住の学生（保証人住所が世田谷区）

大学名	性別	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	男性	244	308	312	329	383
	女性	88	120	114	123	108
	計	332	428	426	452	491
駒澤大学	男性	255	276	229	215	207
	女性	165	171	134	136	132
	計	420	447	363	351	339
昭和女子大学	男性	0	0	0	0	0
	女性	158	164	201	193	201
	計	158	164	201	193	201
成城大学	男性	144	136	124	132	135
	女性	189	191	173	174	183
	計	333	327	297	306	318
東京都市大学	男性	159	170	181	175	178
	女性	70	75	83	99	99
	計	229	245	264	274	277
東京農業大学	男性	146	144	140	155	161
	女性	122	133	162	154	165
	計	268	277	302	309	326
計	男性	948	1,034	986	1,006	1,064
	女性	792	854	867	879	888
	計	1,740	1,888	1,853	1,885	1,952

※正確な数値は2017年度より取得。2016年度以前は参考値として活用ください。

0-2 保証人が世田谷区外で世田谷区在住の学生（≒人口の流入者数）

大学名	性別	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	男性	878	746	685	563	592
	女性	353	212	194	188	182
	計	1,231	958	879	751	774
駒澤大学	男性	2,055	1,979	1,808	1,605	1,454
	女性	797	818	789	694	596
	計	2,852	2,797	2,597	2,299	2,050
昭和女子大学	男性	0	0	0	1	1
	女性	615	562	689	443	410
	計	615	562	689	444	411
成城大学	男性	218	204	144	149	133
	女性	226	206	154	134	121
	計	444	410	298	283	254
東京都市大学	男性	450	432	435	340	331
	女性	81	84	89	76	76
	計	531	516	524	416	407
東京農業大学	男性	1,603	1,454	1,425	1,216	1,285
	女性	844	804	791	716	754
	計	2,447	2,258	2,216	1,932	2,039
計	男性	5,204	4,815	4,497	3,874	3,796
	女性	2,916	2,686	2,706	2,251	2,139
	計	8,120	7,501	7,203	6,125	5,935

※正確な数値は2017年度より取得。2016年度以前は参考値として活用ください。

2021年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

1. 文化・芸術・教育関係 指標

1-1-1 公開講座実施数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	93	102	92	0	4
	世田谷PF	0	0	0	0	0
駒澤大学	自大学	15	24	37	9	55
	世田谷PF	0	0	7	2	0
昭和女子大学	自大学	16	21	22	11	11
	世田谷PF	0	1	0	0	0
成城大学	自大学	48	53	53	7	18
	世田谷PF	1	0	2	3	11
東京都市大学	自大学	17	3	49	14	22
	世田谷PF	0	0	3	3	5
東京農業大学	自大学	117	97	98	58	111
	世田谷PF	0	0	0	0	0
計	各大学	306	300	351	99	221
	世田谷PF	1	1	12	8	16

1-1-2 eラーニング(せたがやeカレッジ含む)による講座提供件数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	0	0	1	1	2
駒澤大学	自大学	2	3	2	2	26
昭和女子大学	自大学	1	3	5	6	4
成城大学	自大学	0	1	3	10	9
東京都市大学	自大学	0	3	4	14	15
東京農業大学	自大学	0	0	9	0	13
計	各大学	3	10	24	33	69

1-2-1 世田谷区内小・中学校等への教育活動支援学校数(出前講座含む)

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	10	10	4	3	9
駒澤大学	自大学	14	10	7	0	10
昭和女子大学	自大学	29	15	11	6	13
成城大学	自大学	2	3	2	0	5
東京都市大学	自大学	9	8	1	0	19
東京農業大学	自大学	4	3	0	0	0
計	各大学	68	49	25	9	56

1-2-2 学生ボランティアによる区立小・中学校等への教育活動支援派遣者数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	0	9	5	12	17
駒澤大学	自大学	12	11	5	3	12
昭和女子大学	自大学	54	32	44	16	31
成城大学	自大学	4	2	2	1	3
東京都市大学	自大学	5	2	15	0	0
東京農業大学	自大学	15	14	10	0	4
計	各大学	90	70	81	32	67

2021年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

1-3 乳幼児及び保護者向けの支援活動及びその活動を啓発する為の講習会等の実施件数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
駒澤大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
昭和女子大学	自大学	4	3	3	2	3
	世田谷PF	—	0	0	0	0
成城大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
東京都市大学	自大学	5	3	10	4	5
	世田谷PF	—	1	4	2	1
東京農業大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	0	0	0	0
計	各大学	9	6	13	6	8
	世田谷PF	—	1	4	2	1

1-4 障がい者支援活動及びその活動を啓発する為の講習会等の実施件数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	—	0	0	0
駒澤大学	自大学	1	1	1	0	0
	世田谷PF	—	—	0	0	0
昭和女子大学	自大学	8	10	2	5	1
	世田谷PF	—	—	0	0	0
成城大学	自大学	0	0	0	0	1
	世田谷PF	—	—	0	0	0
東京都市大学	自大学	2	0	0	0	0
	世田谷PF	—	—	0	0	0
東京農業大学	自大学	1	1	1	0	1
	世田谷PF	—	—	0	0	0
計	各大学	12	12	4	5	3
	世田谷PF	—	—	0	0	0

2021年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

2. 地域活性 指標

2-1 地域振興・交流イベントの開催・協力件数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	主催(自大学)			1	1	3
	共催(自大学)	2	2	1	0	0
	協力等(自大学)	5	5	2	0	2
	計(自大学)	7	7	4	1	5
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	2
	共催(世田谷PF)	—	—	0	1	2
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	計(世田谷PF)			0	1	4
駒澤大学	主催(自大学)			5	0	0
	共催(自大学)	32	28	2	0	0
	協力等(自大学)	17	20	48	0	4
	計(自大学)	49	48	55	0	4
	主催(世田谷PF)	—	—	1	0	0
	共催(世田谷PF)	—	—	1	0	0
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	計(世田谷PF)	0	0	2	0	0
昭和女子大学	主催(自大学)	1	2	1	0	1
	共催(自大学)	12	11	5	0	1
	協力等(自大学)	1	1	2	0	2
	計(自大学)	14	14	8	0	4
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	1
	共催(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	計(世田谷PF)	0	0	0	0	1
成城大学	主催(自大学)	4	4	3	3	3
	共催(自大学)	3	3	0	0	0
	協力等(自大学)	0	0	0	0	0
	計(自大学)	7	7	3	3	3
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	共催(世田谷PF)	—	—	1	0	3
	協力等(世田谷PF)	—	—	2	0	0
	計(世田谷PF)	0	0	3	0	3
東京都市大学	主催(自大学)			21	8	12
	共催(自大学)	0	0	14	0	2
	協力等(自大学)	8	4	33	4	10
	計(自大学)	8	4	68	12	24
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	共催(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	1	5
	計(世田谷PF)	0	0	0	1	5
東京農業大学	主催(自大学)			0	0	0
	共催(自大学)	2	2	0	0	0
	協力等(自大学)	0	3	0	0	3
	計(自大学)	2	5	0	0	3
	主催(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	共催(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	協力等(世田谷PF)	—	—	0	0	0
	計(世田谷PF)	0	0	0	0	0
計(自大学)	主催(自大学)	41	38	31	12	19
	共催(自大学)	15	14	22	0	3
	協力等(自大学)	31	33	85	4	21
	合計(自大学)	87	85	138	16	43
計(世田谷PF)	主催(世田谷PF)	—	—	—	0	3
	共催(世田谷PF)	—	—	—	1	5
	協力等(世田谷PF)	—	—	—	1	5
	合計(世田谷PF)	—	—	—	2	13

2021年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

2-2 防災教育の参加者数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	3,985	3,187	4,960	4,211	4,541
駒澤大学	自大学	11	26	25	1	30
昭和女子大学	自大学	5,118	5,120	5,104	7,024	8,748
成城大学	自大学	2,157	2,322	34	0	7
東京都市大学	自大学	4,657	4,740	0	0	0
東京農業大学	自大学	2,117	2,149	3,891	2,178	2,184
計	各大学	18,045	17,544	14,014	13,414	15,510

3. 産業 指標

3-1-1 区内産業界へのインターンシップ参加者数

大学名	性別	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	男性	6	7	8	0	0
	女性	3	4	3	0	0
	計	9	11	11	0	0
駒澤大学	男性	29	15	19	2	3
	女性	16	13	12	5	3
	計	45	28	31	7	6
昭和女子大学	男性	0	0	0	0	0
	女性	69	39	48	17	50
	計	69	39	48	17	50
成城大学	男性	1	1	2	0	1
	女性	2	1	0	0	2
	計	3	2	2	0	3
東京都市大学	男性	9	7	8	1	1
	女性	1	2	5	0	1
	計	10	9	13	1	2
東京農業大学	男性	0	0	0	0	0
	女性	0	4	0	0	0
	計	0	4	0	0	0
計	男性	45	30	37	3	5
	女性	91	63	68	22	56
	計	136	93	105	25	61

3-1-2 世田谷区内の企業等への就業者数

大学名	性別	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	男性	31	26	23	7	15
	女性	7	11	17	2	11
	計	38	37	40	9	26
駒澤大学	男性	17	25	20	24	22
	女性	29	23	23	23	13
	計	46	48	43	47	35
昭和女子大学	男性	0	0	0	0	0
	女性	27	28	21	39	33
	計	27	28	21	39	33
成城大学	男性	8	8	5	6	5
	女性	5	5	6	10	9
	計	13	13	11	16	14
東京都市大学	男性	17	18	23	13	14
	女性	11	14	20	13	5
	計	28	32	43	26	19
東京農業大学	男性	23	23	15	17	15
	女性	20	22	21	23	27
	計	43	45	36	40	42
計	男性	96	100	86	67	71
	女性	99	103	108	110	98
	計	195	203	194	177	169

2021年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

3-2 社会人向け教育プログラム数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	—	—	0	0
駒澤大学	自大学	10	8	8	1	3
	世田谷PF	—	—	—	0	2
昭和女子大学	自大学	5	6	4	8	10
	世田谷PF	—	—	—	0	0
成城大学	自大学	0	0	0	0	0
	世田谷PF	—	—	—	0	1
東京都市大学	自大学	1	1	19	2	3
	世田谷PF	—	—	—	0	0
東京農業大学	自大学	0	0	0	0	11
	世田谷PF	—	—	—	0	0
計	各大学	16	15	31	11	27
	世田谷PF	—	—	—	0	3

3-3 産業イベント開催・協力件数

大学名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	2	2	2	0	0
駒澤大学	0	1	1	1	1
昭和女子大学	1	1	1	3	5
成城大学	1	1	3	1	1
東京都市大学	1	1	3	1	2
東京農業大学	0	0	0	0	0
計	5	6	10	6	9

3-4 創業機運醸成のためのイベント等開催数

大学名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	—	—	—	0	0
駒澤大学	—	—	—	2	0
昭和女子大学	—	—	—	0	0
成城大学	—	—	—	0	0
東京都市大学	—	—	—	1	1
東京農業大学	—	—	—	0	0
計	—	—	—	3	1

4. 国際化 指標

4-1 国際イベント開催・協力件数

大学名	形態	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士館大学	自大学	2	2	2	0	1
	世田谷PF	—	—	—	0	0
駒澤大学	自大学	22	14	11	0	1
	世田谷PF	—	—	—	0	4
昭和女子大学	自大学	14	6	6	0	0
	世田谷PF	—	—	—	0	2
成城大学	自大学	1	1	0	0	12
	世田谷PF	—	—	—	0	1
東京都市大学	自大学	0	1	5	1	1
	世田谷PF	—	—	—	0	0
東京農業大学	自大学	3	4	4	0	9
	世田谷PF	—	—	—	0	0
計	各大学	42	28	28	1	24
	世田谷PF	—	—	—	0	7

2021年度 世田谷プラットフォーム 期末データ集

5. 区内大学の連携 指標

5-1 共同FD・SD開催件数(自大学が会場校の件数を記入ください)

大学名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	1	1	1	2	2
駒澤大学	0	0	2	2	7
昭和女子大学	0	0	0	0	0
成城大学	0	1	0	1	0
東京都市大学	0	1	1	1	0
東京農業大学	0	0	0	0	0
計	1	3	4	6	9

5-2 共同の単位互換科目数(自大学提供科目数を記入ください)

大学名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	0	0	0	42	44
駒澤大学	182	187	198	182	184
昭和女子大学	1	1	1	1	2
成城大学	0	0	0	0	0
東京都市大学	69	60	64	64	63
東京農業大学	0	0	0	0	0
計	252	248	263	289	293

5-3 共同利用が可能な施設・設備登録数(自大学提供の施設・設備登録数を記入ください)

大学名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	0	207	207	207	207
駒澤大学	1	223	223	223	223
昭和女子大学	1	3	3	3	3
成城大学	0	108	109	109	109
東京都市大学	1	68	94	94	94
東京農業大学	1	1	1	83	86
計	4	610	637	719	722

5-4 世田谷プラットフォーム参加校数

大学名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
計	—	—	6	6	6

5-5 共同学生募集活動件数

大学名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	0	1	1	1	1
駒澤大学	3	4	3	3	3
昭和女子大学	1	1	1	1	1
成城大学	0	1	1	1	1
東京都市大学	3	2	2	1	1
東京農業大学	0	1	1	1	1
計	7	10	9	8	8

5-6 学生ボランティア派遣件数(新規)

大学名	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
国士舘大学	—	—	—	—	6
駒澤大学	—	—	—	—	2
昭和女子大学	—	—	—	—	35
成城大学	—	—	—	—	0
東京都市大学	—	—	—	—	0
東京農業大学	—	—	—	—	6
計	—	—	—	—	49